

Vol.22

2017 August

みんなの未来を守る健康診断

けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会 機関紙



水戸黄門まつり

Vol.22 CONTENTS

特集

日本は結核の中まん延国

～低まん延国を目指して～

- ・ 複十字シール運動にご協力お願いします
- ・ 第68回結核予防全国大会に秋篠宮妃殿下が御臨席になりました
- ・ 9月は「がん征圧月間」及び「結核予防週間」です

Topics

- ・ 「つくばピンクリボンフェスティバル2017」に参加
- ・ 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017茨城」に参加
- ・ 休憩時間を含めた「勤務時間内禁煙」を当協会就業規則に規定

Information

- ・ 腸内細菌検査(検便)のご案内

日本は結核の 中まん延国

特集

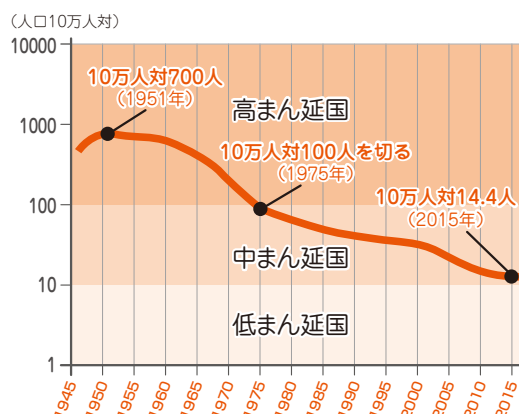
—低まん延国を目指して—

戦後、結核を予防するワクチン接種（BCG接種）による発病予防、集団健診、早期治療が全国に普及し罹患率は減少し、1975年には10万人あたり100人を切り、高まん延国から中まん延国になりました。

そして、2015年には、14.4人まで低下しています。しかし、結核は、今でも年間2,000人近くが亡くなる日本の重大な感染症です。

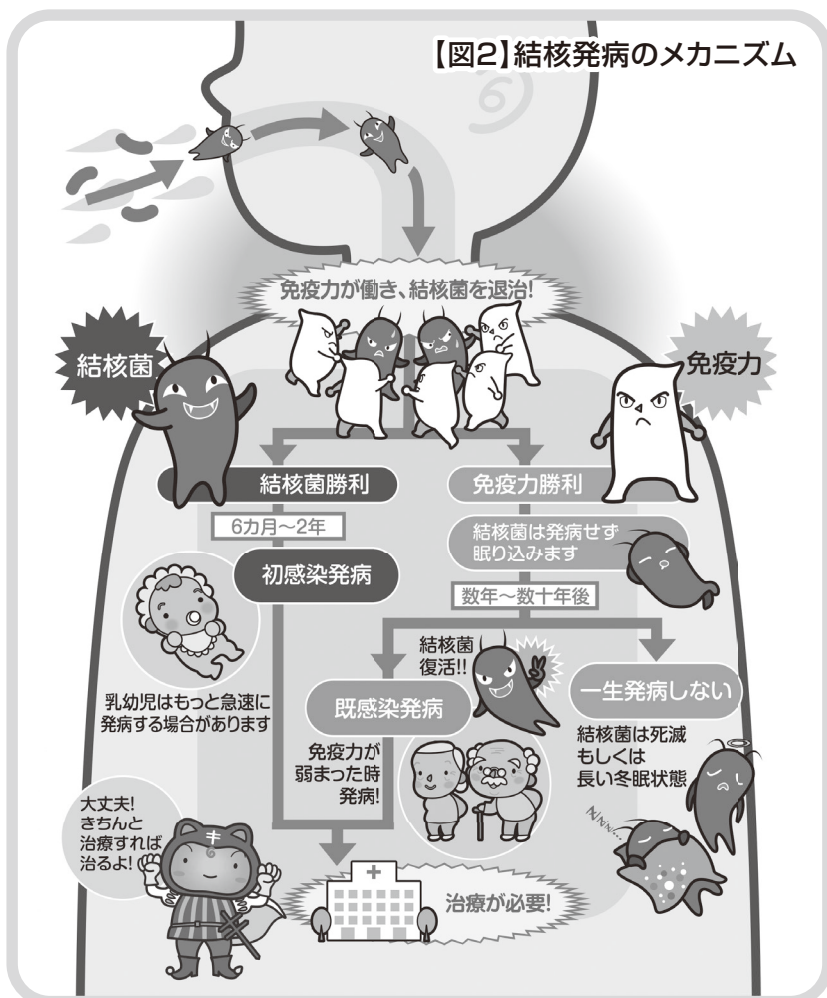
日本は、先進国の中で唯一、結核の中まん延国です。そこで、厚生労働省は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに罹患率が人口10万人あたり10人以下とする低まん延国化を目標とした指針を掲げています。

【図1】日本の結核罹患率の推移



かつて結核は国民病といわれ、1951年には、罹患率が人口10万人あたり700人にまで達しました（図1）。

【図2】結核発病のメカニズム



出典：(公財)結核予防会「結核の常識2016」

結核はどんな病気

結核菌によって主に肺に炎症がおこる病気です。およそ80%が肺結核で、咳、痰、発熱などの症状がみられます。また、結核性胸膜炎、リンパ節結核、腸結核、脊椎結核など肺以外の臓器も結核になります。

どのように感染・発病するか

咳とともに結核菌が空気中に飛び、それを周りの人が吸い込み感染

します（図2）。

感染しても、結核菌の力に比べ、体の免疫力の方が強ければ発病しません。しかし、一度発病を免れても、その後免疫力が低下した時に発病することがあります。なぜなら、感染しても発病しなかった際の結核菌は、休眠状態となり、活動の機会をねらっているからです。

免疫機能が正常な場合、結核菌に感染した人のうち発病するのは10%程度で、そのうち80%は2年以内に発病します。

免疫機能が
弱い人
糖尿病、人工
透析中、手術後、
免疫抑制剤使用
中など



住居や栄養が
不十分な人
ホームレスや
スラム居住者

結核にかかりやすい人 (ハイリスクグループ)

・胸部X線検査
・CT検査
結核の病巣の広
がりがかかります。

喀痰検査
痰の中に結核菌
があるかどうかを
検査します。また、
結核菌遺伝子型検
査により結核菌の
株種がわかります。
結核菌の感染ルー
トの解明に利用さ
れます。

発病を調べる検査

ツベルクリン反応検査

1882年に結核菌を発見したコッホは、ツベルクリンの研究をすすめまし
た。コッホのもとで研鑽を積んだ獣医師のピアソンは、ツベルクリン検査を
牛に対して行い、結核牛の診断ができることを示しました。このツベルクリ
ン検査は、日本でも行われ、感染した牛を処分したため、結核牛が減り、現在
ではほとんどみられなくなりました。その後、より純粋で安定したツベルク
リンが精製され、人に対するツベルクリン検査ができるようになりました。
ツベルクリン液を皮内に注射し、48時間後に皮膚の反応を判定します。
結核菌感染やBCG接種を受けた人は、ツベルクリン液を注射すると皮膚
が赤く反応します。しかし、反応が結核感染のためか、BCG接種のためか
判断しにくい場合があります。

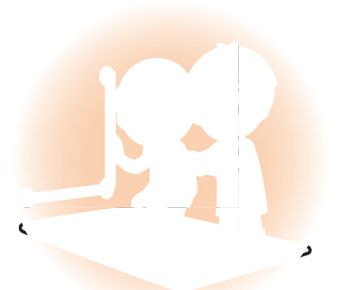
インターフェロンγ遊離検査(IGRA)

血液検査で結核菌に感染したかどうかを検査します。BCGの影響を受け
ないため、ツベルクリン反応検査に代わって行われることが多くなっています。

感染を調べる検査

発病した場合の周囲への 影響が大きい人 (デインジャーグループ)

医療従事者や社会福祉施設
の従事者、学校や保育園等の職
員など、発病した場合に多くの
人に感染させる可能性のある職
業の人は、早期に発見できるよ
うに心がける必要があります。



低まん延国をめざした対策

2014年に世界保健機関
(WHO)は、結核終息戦略を発表し、
低まん延国はもとより、日本を含め
た低まん延国に近づく国に対しても、
根絶を目指した対策を進めるよう求
めています。

このようなことから、我が国では昨
今の結核を取り巻く状況の変化を踏
まえ、昨年11月に「結核に関する特定
感染症予防指針」の所要の見直しを
行い、結核対策の「層の推進を図って
いくため主に次のような施策や目標を
掲げています。

①結核の発生予防とまん延の防止

●まん延防止のための早期発見

咳や微熱を放置せず、保健所や
医療機関で相談しましょう。特にハ
イスクグループやデインジャー

グループは注意が必要です。また、
高齢者は、罹患率が高いにも関わら
ず、自覚症状がでにくいいため発見が
遅れることがあります(表1)。

【表1】年齢別結核罹患率

(人口10万人対)

	1995年	2005年	2015年
総数	34.3	22.2	14.4
0-4歳	2.5	1.0	0.6
5-9歳	1.2	0.4	0.2
10-14歳	1.5	0.6	0.2
15-19歳	7.0	4.4	2.8
20-29歳	20.8	15.4	9.0
30-39歳	20.3	14.9	7.1
40-49歳	26.0	14.0	7.5
50-59歳	41.3	18.9	8.8
60-69歳	66.5	26.2	13.1
70歳以上	112.2	66.6	45.2

出典 結核予防会 結核研究所 疫学情報センター

●健康診断

労働安全衛生法66条では、事業
所において、事業者は労働者に健康
診断を行うことが義務付けられて
います。また、感染症法では、職員
および施設に収容されている者に
対して結核の定期健康診断を行う
ことが、事業所、学校および福祉施
設の長に、義務付けられています。
また、労働者や施設を利用するも
のは、結核の健康診断を受ける義務
があります。病気等により健診を
受けられなかった場合は、後日検査
を受け、結果を提出しなければなり
ません。

健康診断を受けただけで終わり
ではありません。健康診断の結果、
精密検査が必要と判定された場合
は、医療機関で精密検査を受けてく
ださい。もしも結核にかかっていた
場合には、病院受診が遅れると周囲

の感染者を増やしてしまうことにな
ります。なぜなら、受診が遅れた分
だけ、結核が悪
化し、痰の中の
結核菌の量が増
えるからです。

●患者発生時の健康診断

結核の発生は、法律に基づく届け出
により調査されています。都道府県で
は、発生した結核の状態を把握し、対
象となる人に健康診断をしています。

●BCG接種

2014年度の乳幼児の接種率は
97%と高く、今後も95%以上を維持で
きるよう接種環境の確保が必要です。

②適切な医療

結核の治療は6か月以上かかります。
薬を途中でやめると、病気が治ら
ないだけでなく、体内に残っている結
核菌が薬の効きにくい菌(多剤耐性
菌)になってしまうことがあります。
ですから、結核の薬は、症状がなくて
も指示された期間飲み続けなければ
なりません。しかし、忘れずに飲み続
けるのはかなり難しいことです。そこ
で、患者が服薬するところを目の前で
確認する「服薬確認療法」が行われ、
医療機関・薬局・保健所が服薬を支援
しています。特に住所不定者、アル
コール依存症者、過去
に中断歴のある者等、
中断の危険が高い場
合には、頻回に確認を
行っています。



③ 研究開発

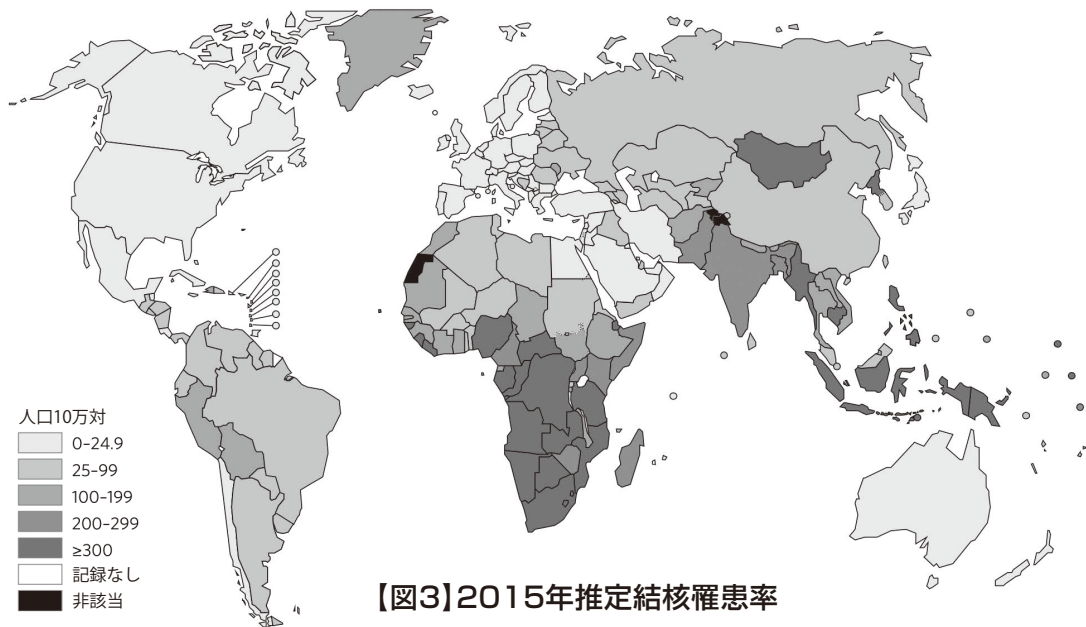
国は、低まん延国を目指し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）や国立感染症研究所のほか、民間団体、海外の研究機関等の関係機関と連携して調査及び研究を積極的に推進しています。発病予防のツクチン開発、感染や発病を確実に診断できる方法の研究、殺菌力が強い治療薬の調査研究などに取り組み、いくことの必要性を示しています。

④ 世界的な結核制圧

日本の新規登録結核患者のうち、他国出生者は増加しており、特に20代では、50%以上が他国出生者です（表2）。

アジアとアフリカは、結核高まん延地域です。グローバル社会において、日本の結核をなくすためには、世界の結核の抑制が必要（図3）。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには、結核低まん延国の仲間入りをして、世界の皆様をお迎えしましょう。



【図3】2015年推定結核罹患率

【表2】外国生まれの人の結核

	2011年	2015年
総数	921 (4.1)	1,164 (6.4)
0-4歳	3 (9.1)	3 (10.3)
5-9歳	2 (10.0)	0 (0.0)
10-14歳	3 (9.7)	6 (46.2)
15-19歳	27 (17.2)	57 (35.0)
20-29歳	419 (29.6)	565 (50.1)
30-39歳	226 (13.2)	252 (22.9)
40-49歳	126 (6.9)	134 (9.8)
50-59歳	53 (2.6)	74 (5.5)
60-69歳	20 (0.6)	27 (1.1)
70-79歳	19 (0.4)	19 (0.5)
80歳以上	23 (0.3)	27 (0.4)

() 内は新登録に占める割合
出典 厚生労働省

出典 WHO Global tuberculosis report 2016

複十字シール運動にご協力をお願いします

茨城県の結核の状況

結核で亡くなった人

47人/年

平成26年人口動態統計

新たに結核になった人

387人/年

平成26年結核年報

複十字シール運動は、結核や肺がんなどの胸部に関する病気をなくして健康で明るい社会の実現のため、毎年全国で行われている募金活動です。

募金の使い道は、結核予防の広報や教育資料の作成、結核予防団体の活動、呼吸器疾患の調査研究及び途上国の結核対策に使われています。

今年も皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

募金方法

口座振り込みにて受付しております。ご協力いただける際には、下記あてにご連絡ください。追って、振込手数料が不要の専用振込用紙と複十字シールをお送りいたします。

【連絡先】総務課 ※「複十字シール」とお伝えください。

☎ 029-241-0011(代)

【個人情報の取扱いについて】

当協会は、募金者個人情報を厳正に保護管理し、「募金振込用紙の送付」及び「募金に関する機関紙の送付」のみに使用させていただきます。また、一定金額以上ご協力いただいた方は、当紙面にてご紹介させていただきます。希望されない場合は、お手数ですがその旨を総務課へご連絡ください。

DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2017

JAPANESE ANTI-TUBERCULOSIS ASSOCIATION



複十字シール
みんなの力で結核や肺がんをなくすために
複十字シールは世界共通の結核予防運動のシンボルです

今年の複十字シール

第68回 結核予防全国大会に 秋篠宮妃殿下が 御臨席になりました



が御臨席になり、おことは述べられました。また、結核予防に功績のあった個人や団体を表彰されました。

結核予防会茨城県支部である当協会は、結核健診を推進するとともに、複十字シール募金運動等の啓発活動に引き続き取り組んでまいります。

この大会は、全国の結核予防会各都道府県支部をはじめ、関係者らが一堂に会し、直面する結核の諸問題や対策、将来に向けての方針などについて討議する重要な大会です。

5月18日(木)と19日(金)の2日間に行われ、「第68回結核予防全国大会(主催…公益財団法人結核予防会)」が北海道札幌市で開催されました。

9月は「がん征圧月間」及び「結核予防週間」です

毎年9月の「がん征圧月間」では、全国の関係団体が「がん」になってがん予防やがん検診啓発活動を展開します。

日本対がん協会では、がん検診の啓発ポスターを毎年制作しており、今年度は、「自分のことは、自分が一番分かっているから」と頑固なまでにがん検診に行かない人が言いそうなセリフを「嘘」という言葉で真っ向から否定する構成となっています。「がんは自分が気付かないうちに進行している」という、なかなか伝わらないメッセージがシンプルに描かれて

います。このポスターは、同月間に合わせて、全国の自治体、保健所などに掲示されます。

また、9月24日から9月30日までの「結核予防週間」では、今なお日本に蔓延する結核の怖さと正しい知識を伝えるため、全国各地で様々な啓発活動が展開されます。

当協会は今年も、新聞広告や本部及び各センターに横断幕を掲げて「がん征圧月間」を広く周知するとともに、県や保健所と連携して県内各地で「結核予防街頭キャンペーン」を予定しています。



△この人は嘘をついています。

がんは自分が気付かないうちに進行しています。

がん検診に行って、早期発見を。



9月、がん征圧月間
全国大会 2017.9.8 金沢市

「つくばピンクリボンフェスティバル2017」に参加

Topics



ピンクリボンウォークのスタート!

5月14日母の日、乳がん検診啓発イベント「つくばピンクリボンフェスティバル2017」が、つくば市で開催されました。

当協会は、毎年このイベントを共催しており、当日は、総勢26名の職員が早朝から会場設営などの準備を行いました。

恒例の「ピンクリボンウォーク」は今年も盛大にスタートし、参加者650名が10kmと5kmのコースに分かれて、沿道の人々に「乳がん検診を受けよう!」などと呼びかけました。

当協会も、揃いのオリジナルTシャツに職員お手製の可愛いピンクリボンを付け、気持ちをひとつに「がん検診へ行こう!」と訴えてきました。

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017茨城」に参加



5月20日(土)・21日(日)の2日間、つくば市研究学園駅前公園にて開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017茨城」に今年も参加してきました。

このイベントは、「がん患者さんは、朝も夜も24時間、がんと闘っている」との想いを分かち合い、患者さんと一緒にがんを挑もうと24時間夜通しでチャリティーウォークを行うものです。

オープニングセレモニーにおいて希望の

象徴である鳩型バルーンを五月晴れの空に二斉に放ったあと、がんを闘う患者さんを先頭に24時間ウォークがスタートしました。当日は真夏を思わせる暑さでしたが、小さなお子さんから高齢の方まで大勢の方が元気に歩いていました。周回トラック沿いには、「お母さんがんばったね」「いつでも一緒だよ」などのメッセージが綴られた白い紙袋(ルミナリエバック)が囲むように置かれ、日没後は、ルミナリエの灯りが参加者の足元を優しく照らし続けていました。

当協会は、これからも同イベントに参加し、がん患者支援活動に協力してまいります。



想いや祈りを捧げるルミナリエバック



休憩時間を含めた 勤務時間内禁煙を 当協会就業規則に規定



厚生労働省は受動喫煙防止対策強化を目的に、「建物内禁煙」や学校や病院では、より厳しい「敷地内全面禁煙」とするなどの法律改正を目指しています。厚生労働省自体も、昨年11月から中央官庁では初めて、「敷地内全面禁煙」を始めています。

当協会では、以前から「敷地内全面禁煙」としていましたが、若手を中心とした職員から、組織の足元からもつと積極的に受動喫煙防止活動の推進、快適な職場環境の整備を進めていきたいと要望がありました。

そこで、すべての職員を対象に、本年5月から勤務時間外であっても協会の行事等では喫煙禁止といたしました。その範囲は、歓送迎会等の会合時や始業時間前にも及びます。

また、休憩時間を含めた「勤務時間内禁煙」を就業規則に定めました。休憩時間も含めた喫煙禁止規定は、全国的にも非常に珍しいのではないかと思います。さらに活動機運を盛り上げるため、厚生労働省の受動喫煙対策の原案に賛同する署名運動に参加するなど、その他様々なことを行っています。

昨年、厚生労働省が公表した「たばこ白書」によれば、日本は世界最低レベルの受動喫煙対策のようです。受動喫煙によつて健康を損なわないよう、たばこ対策の重要性を社会に発信していきたいと考えています。

Information

腸内細菌検査 (検便) のご案内

食中毒の症状というと、激しい「下痢」や「嘔吐」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。しかし、原因菌に感染しても、症状がなかったり、軽い下痢で終わる方も少なくありません。そのような方は、「健康保菌者」といわれますが、本人自身が感染源であるという自覚がないため注意が必要です。食品を取り扱った場合、食中毒事故が発生させる恐れがあります。

原因菌に感染しているかどうかは、腸内細菌検査(検便)を受ければ分かります。

食中毒事故を未然に防いで、安全・安心の食を提供するため、食品取扱者は毎月「腸内細菌検査(検便)」を受けましょう。

推奨項目・料金

赤痢菌, サルモネラ属菌,
腸管出血性大腸菌O157 800円(税込)

赤痢菌, サルモネラ属菌,
同O157, O26, O111 1,200円(税込)



〔提出先等〕

※右記提出先にて
専用容器と
申込用紙を
お配りしています。

提出先	住 所	受付日	受付時間
本部	水戸市笠原町489-5	月～木 (祝日, 祝前日除く)	8:30～15:00
県南センター	土浦市手野町1-1		8:30～12:00
県西センター	筑西市関本分中37-1		
県保健所	県内12か所	最寄りの保健所にご確認ください。	

〔お問合せ〕

渉外課 ☎029-241-0542(直通) ※「保菌検査」とお伝えください。



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5
TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2008認証取得

プライバシーマーク認証取得



☐ 県南センター	〒300-0025	土浦市手野町1-1	TEL 029-830-3355	FAX 029-828-0985
☐ 県西センター	〒308-0125	筑西市関本分中37-1	TEL 0296-20-3480	FAX 0296-20-3482
☐ 茨城県立健康プラザ	〒310-0852	水戸市笠原町993-2	TEL 029-243-4171	FAX 029-243-9785

編集後記

連日猛暑が続いています。寝苦しい夜は、クーラーを上手に使いながらお休みになる方も多いのではないのでしょうか。そんなクーラーが一般家庭に普及し始めたのが1980年代といわれています。それ以前は、扇風機を活用したり、玄関先に水を撒くことで、涼しい風を起こして夏を乗り切ってきました。

そのほか、金魚や夏の風物詩が描かれた風鈴も「音」で涼をとる人気アイテムでした。「風鈴が鳴る→風が吹いている→涼しい」という、風のイ

メージを脳に与え、「音」や生活の工夫で、「涼」を体感したわけです。

あるミュージシャンが、「幸せを手に入れるんじゃない。幸せを感じることでできる心を手に入れるんだ」と言っていました。この言葉を借りると、「涼を感じることでできる心を手に入れるんだ」です。

今夏は、酷暑が続くと予想されています。

クーラーと風鈴の音色とともに少しでも「涼」を感じることのできる工夫をされてはいかがでしょうか。



個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

「けんこうリンク」の各種情報は、[けんこうリンク](#) [検索](#)

<http://www.ibasouken.org/>

